

【授業科目】助産診断学 Midwifery Diagnostics

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
日比 千恵、高塚 麻由 野内 香純、鈴木 茉央、産科医	3年次後期 4年次前期	選 択	3	45	講義	あり	巻末 掲載	可
授業概要 (内容と進め 方) 及び 課題に対する フィードバック方法	授業概要/助産の基本概念、専門的知識を踏まえ、妊娠・分娩・産褥期が正常な経過と逸脱を予測するのに必要な知識・診断について学習する。母子をとりまく環境が母子およびその家族の身体的・心理的・社会的状態にどのように関連しているかをアセスメントし、助産過程を展開できる能力を養う。事例に基づく臨床推論により妊娠・分娩・産褥の各期において必要時、継続的な支援につなげられる母子(胎児)の状態について思考過程を深め、判断できる能力を養う。課題に対するフィードバック方法/グループワーク時の講評および課題のコメントは授業で全体の総評を行う *実務経験を持つ教員が授業を進める							
実務経験に 関する授業	産科領域の臨床経験を持つ教員が、助産師として必要な診断の知識について、実務経験を交えながら指導する科目である。							
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	1. 妊婦及び胎児のケアに必要な身体的・精神的・社会的基礎知識を述べることができる。 2. 妊娠期にある妊婦の正常経過及び逸脱した状態への助産診断、助産過程を展開できる。 3. 分娩期の診断に必要な基本的知識を述べるができる。 4. 分娩期における助産診断と助産過程の展開ができる。 5. 産褥期・新生児期における助産診断と助産過程を展開できる。							
時間外学習に 必要な 内容・時間	【事前学習】第1～23回:母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ、母性看護学実習の関連項目の復習(各60分) シミュレーションセッションに必要な課題の学習(各60分) 【事後学習】第1～23回:学習した内容を教科書で調べなおし、自己学習ノートにまとめる。ノートは助産学実習で使用できるように工夫して作成すること。(各60分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	【3年次】 第1～2回 妊娠期の助産診断を学ぶ、妊娠の診断・時期診断・経過診断とケア 第3～7回 妊娠経過のアセスメントとケア①～⑤ 臨床推論 グループワーク(情報収集とアセスメント、推論、診断、ケア検討、発表、振り返り) 第8～9回 分娩期の診断に必要な基本的知識①②を学ぶ 妊娠・分娩が母体及び胎児に及ぼす影響、分娩の3要素(産道・娩出力・娩出物)および母体精神を理解する 第10回 ハイリスク妊娠・分娩、異常妊娠・分娩のアセスメントと診断、異常時の対応 【4年次】 第11回 分娩期の助産診断を学ぶ 分娩3要素から分娩開始の診断、分娩経過の診断と予測、児出生時間の予測を行う 第12～13回 胎児健康状態の診断:胎児モニタリング 第14～19回 分娩経過のアセスメントとケア①～⑥ 臨床推論 グループワーク(情報収集とアセスメント、推論、診断、ケア検討、発表、振り返り) 第20回 助産師が臨床で行う診断技術学の実践を学ぶ 演習 第21～22回 産褥期・新生児期のアセスメントと診断①② 演習 第23回 ペリネイタル・ロス 褥婦および家族へのケアについて考える						第1～2回:日比 第3～7回:日比 高塚,野内,鈴木 第8～9回:日比 第10回:野内 第11回:日比 第12～13回:産科 医 第14～19回:日比, 高塚,野内,鈴木 第20回:日比 第21～22回:野内 第23回:日比	
評価方法 評価基準	定期試験 70%、授業・課題の取り組み状況 30%(学習成果の発表 10%、事前・事後課題 20%)で総合的に評価する							
教科書	1. 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ妊娠 第6版 医学書院 2. 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ分娩期・産褥期 第6版 医学書院 3. 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ 新生児期・乳幼児期 第6版 医学書院 4. 『胎児心拍数モニタリング講座、改定4版』藤森敬也 5. 『今日の助産 改定第4版』北川真理子他編著、南江堂			参考書等		『改定23版 最新産科学、正常編』荒木勤 文光堂 『改定23版 最新産科学、異常編』荒木勤 文光堂 『産婦人科診療ガイドライン産科編2023年』日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集 『助産外来の健診技術』進 純郎 医学書院 助産師基礎教育テキスト第4巻 日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト第5巻 日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト第6巻 日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト第7巻 日本看護協会出版会		
学生への 助言等	シミュレーションセッションにより、妊産褥婦の状態を適切に判断できるよう、しっかり事前学習をし、学生同士の意見交換を行い、お互いに学習を深めていってください。							